

# 新藤信夫市政ニュース

令和4年3月

Vol.34

さいたま市議会自由民主党  
議員団大宮区西支部  
TEL 647-7713  
FAX 647-7726



## へご挨拶 新藤信夫

長い冬もようやく明けて、誰もが待ち望んでいた春の訪れです。しかし3月22日のようなほころび始めた桜の花に雪が積もるような寒の戻りも何年かに一度はあります。それでも昼間の時間は長くなり、日中の日差しは強さは生き物を活発に動かします。春の光は人にも大きな力を与えてくれます。しかも今年は新型コロナウイルス オミクロン株の流行で昨年の暮れから3月21日までは蔓延防止等重点措置のためにコロナ籠もりの人も多かったことから春の待ち遠しさは一層大きかったことと思います。

新型コロナウイルス対策は平成4年度も重要な政策となります。3回目のワクチン接種を全力で進めることが新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐ最良の方法である事は証明されています。昨年の10、11月頃に2回目のワクチン接種を受けた方には3回目の接種券が届いていない方もいるようですが、若年層も含めて早期の接種をお願いいたします。ワクチンは十分に用意されています。そんな中、ロシアのウクライナ侵攻が始まってしまいました。2月24日、それまでウクライナ国境付近で大規模な軍事演習を行っていたロシアが、ついに国境を越えてウクライナに侵入したのです。まるで第二次世界大戦を見ているようでテレビの画面に広がる光景は21世紀

の出来事とは思えません。それから1ヶ月の間、都市へのロケット弾やミサイルによる空爆が続き、一般市民に多くの犠牲者が出ており、子供も犠牲になっていきます。隣国への400万人を超える難民の流出も続いています。あたり前だった昨日までの日常が奪われ、あたり前にいた家族がちりぢりになり、働く場所も希望も失って、戦火で廃墟となった街に呆然と立ち尽くす人たち、東京大空襲や広島・長崎の原爆の惨状を思い起こさせます。そんな日が再び日本に来たらと思うと身の毛もよだつ思いがします。日本は陸続きではないにしてもロシアとの間に北方領土問題を抱え、平和条約締結も進展していません。ロシアは北方領土の国後島、択捉島への軍備拡張を盛んに行っています。ロシアはウクライナの原発への攻撃や占拠を継続して危険な状況が続いています。このようなロシアの暴挙は今に始まったことではなくチエコのプラハ、チェチエン共和国、シリア、ウクライナでもクリミア半島の領有も行っており、次第にエスカレートしています。世界中が協力して一日も早くこの戦争を終結させることを祈るばかりです。

**ロシア連邦大統領  
ウラジーミル・ウラジーミロヴィチ・プーチン閣下  
抗議文**

この度の貴国によるウクライナへの軍事侵攻や主権侵害に対し、強く抗議します。

貴国の行為は、国際社会の平和と秩序を脅かし、武力行使を禁ずる国際法、国際連合憲章に反する行為であり、断じて容認することはできません。

加えて、核兵器使用を示唆したことは、核兵器のない世界の実現にむけ努力を続ける国際社会を大いに失望させる行為であり、強い憤りを感じています。

平和都市を宣言した、さいたま市を代表して、貴国が直ちに軍事侵攻を中止し、ウクライナから軍を撤退させるとともに、国際社会との対話と協調による平和的解決を強く求めます。

2022年3月3日  
日本国 埼玉県 さいたま市長 清水 勇人

**ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議**

我が国を含む国際社会が、ウクライナをめぐる情勢について、懸命な外交努力を重ねてきたにもかかわらず、本年2月24日、ロシアはウクライナへの侵略を開始した。ロシアは空港などの重要施設に加え、原子力発電所までも攻撃の対象とするなど、ウクライナ国内では極めて危険な状況が続いている。また、被害の拡大に伴い、ウクライナの人々は過去にない人道危機に瀕しており、多くの難民が安全を求めて国境を越えることを余儀なくされている。武力によるロシアの攻撃は、国際秩序の根幹を揺るがすとともに、国際法・国連憲章の重大な違反である。我が国の安全保障の観点からも、このような力による一方的な現状変更は、いかなる国であろうとも断じて認められない。よって、さいたま市議会は、ロシアによる攻撃やウクライナの主権に対する侵害を非難する。あわせて、ロシアに対し、軍をウクライナから即時かつ無条件で完全撤退させることを強く求める。以上、決議する。

令和4年3月10日提出

ません。ヨーロッパ諸国へのロシアからの石油の供給は経済制裁によつていずれ大きく減少し、中東への依存度が高まれば原油価格は高止まりすることになるでしょう。またウクライナは世界でも有数の小麦の生産地です。日本への輸出割合は少ないのですが、この戦争によつてウクライナの生産量が落ちれば、さらにパンやパスタ等の小麦製品の値上がりも激しくなると思われます。ロシアのウクライナに対する軍事侵攻について、さいたま市長はプーチン大統領に宛てて抗議文を送付し、さいたま市議会もウクライナ支援の決議をあげました。

(左に全文掲載)

2月議会は予算議会です。令和4年度の予算案は二週間に及ぶ予算委員会審議され賛成多数で可決されました。予算の特徴は3市合併から20年の歩みを糧として130万都市としての成熟を深め、重点施策を着実に進めるとともに新型コロナウイルスの拡大を乗り越えるシンカに取り組み予算としています。大きな視点として、新型コロナウイルスや自然災害対策の強化、さいたま市らしさの強化、誰一人取り残さない包括的支援の強化、市役所DXの推進、公民学の共創を重点施策として、一般会計6,373億円、全会計で1兆916億円の過去最大の予算となりました。

平成4年度の予算執行に当たっては市民のみな様に



牧原秀樹衆議院議員と大宮のまちづくりについて意見交換

のご意見をお聞きし、市政をチエツクして進めて参りますので引き続きご支援とご協力をお願いいたします。

## 新年度予算可決

3月11日さいたま市議会2月議会最終日、一般会計で6,373億円となる過去最高額の令和4年度予算が可決しました。予算の拡大は7年連続となっています。歳入においては来年度も転入による人口増加が見込まれることから増額を見込んでいます。歳出では最重点施策としては昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染防止対策や治水を中心とした自然災害対策を盛り込んでいます。

新型コロナウイルス対策では3回目のワクチン接種の促進と体制の確保、若年層へのワクチン接種拡大、自宅療養者への支援体制の強化を目指しています。自然災害対策では冠水区域の解消を図るとともに災害発生時の消防力強化を目指しています。その他、市役所のDX強化は、新型コロナ感染対策において、保健所の機能が大きな問題となったことを受けて関係機関が電話、FAX、デジタル通信などを使用している統一性がなく混乱を来したことを反省し、DXの推進を協力に進めることとしています。市民サービスにおいてもキャッシュレス化や、公民館のWi-Fi環境の整備を進めることとしています。美園駅から岩槻駅までの地下鉄7号線の延伸促進では素案作成に向けて地質調査の費用が計上されました。首都圏に残された大規模で貴重な自然環境空間である見沼田んぼについては、グリーンインフラを活用した取り組みを促進するとともに、桜回廊の管理強化を図ります。教育では不登校や病気等で長期欠席している児童生徒の増加に対応するためICTを使った学習支援や児童生徒全員が情報端末を持つGIGAスクール構想の進展を目指しています。また、福祉においてはヤングケアラー支援が盛り込まれました。

また、福祉においてはヤングケアラー支援が盛り込まれました。

## 当初予算の規模

一般会計	6,373億円	前年度比	+255億円	+4.2%
特別会計	3,237億円	前年度比	+48億円	+1.5%
企業会計	1,305億円	前年度比	+56億円	+4.5%
全会計	1兆916億円	前年度比	+359億円	+3.4%

※端数処理のため合計額が合いません。

## 歳入予算額の推移(令和元年度~令和4年度)



## 目的別予算額の推移(令和元年度~令和4年度)



## さいたま市民会館おおみや 落成式・お別れ会

3月21日新しい市民会館おおみや(大門二丁目)の落成式が市街地再開発ビルの大宮門街の落成式とともに行われました。大宮門街の4階から8階に開設した市民会館おおみやや1,400席の大ホール(4階~8階)、可動席により平土間としても使用できる小ホール、軽運動にも使用できるレクリエーションルームやリハーサルルーム、展示室等様々な用途に対応できる施設として、旧市民会館おおみやに比べて大きく機能を向上した施設となりました。

これからは、市民の皆様の文化芸術活動を支える拠点施設として、情報の発信、舞台芸術の創造や担い手の育成・交流を図る施設として中心的な役割が期待されます。大宮駅と氷川参道の間立地するこのホールは、観光、文化、まちづくり等多様な分野と連携を図り、大宮の文化芸術発展に寄与してゆくものと思います。

新市民会館おおみやの愛称RaiBoC Holl(レイボックホール)は大宮を象徴する文化である鉄道(Railway)、盆栽(Bonsai)、漫画(Cartoon)の頭文字を組み合わせた造語で市民公募によって決定しました。市民の皆様長く愛される施設となることを願います。

同日、旧市民会館おおみや(下町三丁目)のお別れ会「ありがとう市民会館おおみや」が夕方から開催され、多くの市民の皆様が集まりました。

昭和45年に山丸製糸場の跡地に大宮市が建設したのが大宮市民会館です。3市合併によって名称を「さいたま市民会館おおみや」と名称を変更しましたが開館から52年間にわたって大宮の文化芸術発信や卒業式等式典の中心施設として多くの皆様に愛され利用されてきました。建物の老朽化も進み耐震性も劣ることから、あらたな市民会館おおみやが完成したこの3月をもって閉館することとなりました。お別れの会は閉館を惜しむ有志によって開催され、さいたま市観光大使の あらい太郎さんと村田綾さんの司会で、コーディネーターに清水勇人市長と実行委員長の久世晴雅さんらによって大宮市民会館がたどった昭和の高度経済成長期から平成・令和までの懐かしい歴史が語られました。



新市民会館おおみや(レイボックホール)落成式

旧市民会館おおみや お別れ会

## 大宮岩槻線、三橋中央通の事業説明会開催

大宮岩槻線の大和田工区と三橋中央通線の三橋2工区について3月23日~26日にかけて、大和田工区については事業認可に伴う説明会が、三橋2工区については事業計画に伴う説明会が開催されました。

各会場とも約50名の出席者があり土木部道路計画から整備計画について説明がありました。

大宮岩槻線大和田工区は大宮岩槻線の4車線化とともに交差する第2産業道路との交差点改良を含む約1000mの区間で令和3年11月に事業認可となり、令和4年度から用地買収に入ります。当区間は日頃から渋滞が発生しやすい区間で、以前から道路の拡幅が望まれていました。令和9年度の供用開始を目指して道路の改良が行われます。

三橋中央通線三橋2工区は新大宮バイパスから西の水判土までの約700mで著しい混雑区間で拡張整備が急がれる区間となっています。計画は新大宮バイパスの東、大宮駅までの区間と同じ4車線で令和11年の供用開始を目指しています。令和4年度は用地測量等の調査を行い年度内の事業認可取得を目指します。

質疑応答では、大宮岩槻線では残地補償や買い取りの要望が出されました。また、三橋中央通線では鴨川を渡る橋梁の取付けに伴う宅地の高さの調整、交差する細街路への侵入確保が質問され今後の検討事項となりました。

## 事業スケジュールについて

内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
大宮岩槻線大和田工区								
用地測量、設計等	事業認可取得							
用地買収								
街路築造工事等								
三橋中央通線三橋2工区								
用地測量、設計等		事業認可取得						
用地買収								
街路築造工事等								

## 位置図



## HPVワクチン、新型コロナワクチン5~11才接種支援 予算化

ヒトパピローマウイルス感染症による子宮頸がんを予防するHPVワクチンの積極的な接種奨励を控えていた世代(現在17~25歳)を対象に4月からキャッチアップ接種を実施するために必要な経費約7億5千万円を増額する予算を可決しました。

あわせて、新型コロナウイルス感染拡大を防止し、市民の生命と健康を守るための予算として5~11才の小児のワクチン接種について、接種を行う協力医療機関の確保や支援を行うための負担金として約3億円を確保する補正予算を可決しました。4月から実施されます。